

震災二周年特集

- 1面・8面 神戸大ローカル
- 2面・7面 9大学総合面
- 3面～6面 大震災から2年 「被災下宿は今...

神戸大学ニュースネット

NEWS NET

©神戸大学ニュースネット委員会 関西学生報道連盟共同編集室 〒532 大阪市淀川区西中島2-4-18-301 06(307)1315

ド短期バイト充実!

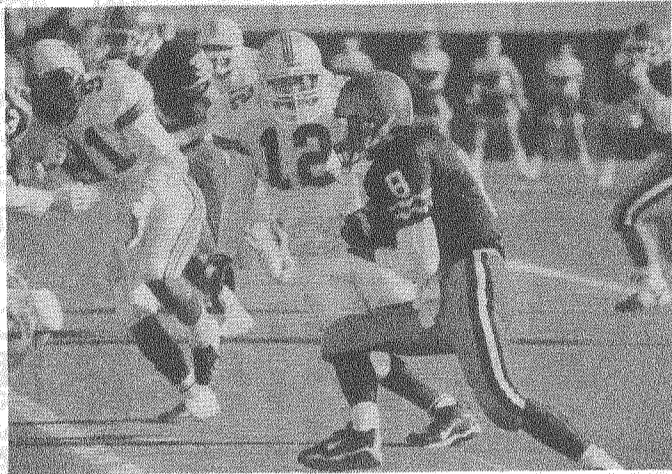
LOVE バイト!

ジェイワン

J-one

毎週火曜・金曜発売200円
ホームページ: http://www.jone.com/

1月号



果敢な攻めをみせる神戸大攻撃陣(十二月八日・長居球技場)

十一月八日、長居球技場で関西学生アメフトリーグ1・2部入れ替え戦が行われ、2部Aリーグ優勝の神戸大レイバンズが1部7位の同大を逆転で破り、二年ぶりの1部復帰を決めた。

同点で迎えた第4Q、同大はRB岸村らのTDで神戸大を突き放した。しかし残り一分五十秒、RB上田が中央から押し込んで同点のTDを決め、CB橋本が

アメフト1部復帰 残り一分五十秒の逆転劇

逆転のTFPを決めた。試合中、常に一人でシュート練習をしている橋本は「いつも通りのプレーをしただけ」と落ち着いたキックを見せた。

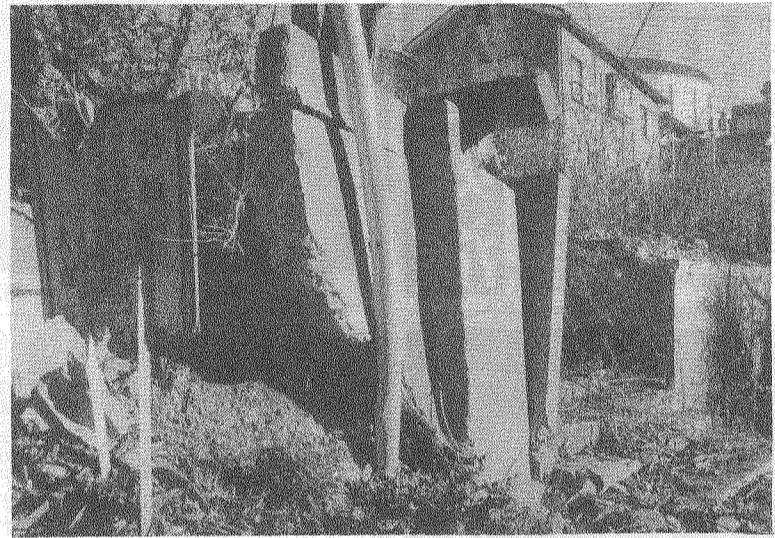
同大の最後の攻撃は神戸大のディフェンスの前で不発に。最後の三十二秒は観客、選手が一体となってカウントダウン。プレーが止まっている間に試合終了。抱き合っている神戸大の選

手たち。顔をあげ、涙をこらえている者もいる。神戸大スタンドからは、惜しめない拍手が送られた。

OBに1部昇格の報告をした後の陣中で、池田信介主将は「お疲れさん」と仲間達を称えた。また木村泰雄監督は「1部の上位チームとはまだまだ差があるが、クラブハウス設置をいい機会にしてさらに躍進したい」と答えた。

惨劇...阪神大震災から二年

更地の下宿街 再建の目処が立たない所も



灘区桜ヶ丘の大日荘では当時の「通り抜け禁止」の看板がそのまま残っている(十二月二十九日撮影)

本紙が、震災で亡くなった神戸大生の下宿二十七か所を取材したところ、まだ十二か所も残った。

更地の所が全体の四四%の十二か所も残った。今もその地を訪ねる人が

今も跡地を訪ねる家族

いる。上野志乃さん(当時発達・二年)の父政志さん(49)もその一人。毎月兵庫県南光町から灘区琵琶町

のアパート跡を訪ねる。駐車場となった敷地の隅に、木製のほころを作った。「娘がおったという証し

になるものを、石一個でもいいからここに置いておきたい。形が無いと忘れられると思うんです」。十七日の三回忌にはまたこの地を訪れるという。(三回六面に特集「被災下宿は今」)

三商戦 神戸大圧勝

競技種目	1位	2位	3位
スキー	神戸大	大市大	一橋大
馬術	神戸大	大市大	一橋大
ラクロス	神戸大	一橋大	大市大
ラグビー	大市大	神戸大	一橋大
ホッケー	神戸大	一橋大	大市大
準硬式野球	神戸大	一橋大	大市大
ボート	一橋大	神戸大	大市大
ハンド	神戸大	一橋大	大市大
バスケット	神戸大	大市大	一橋大
陸上競技	神戸大	大市大	一橋大
サッカー	大市大	神戸大	一橋大
競技ダンス	一橋大	神戸大	大市大
硬式庭球	神戸大	大市大	一橋大
体操競技	神戸大	大市大	一橋大
弓道	神戸大	大市大	一橋大
水泳	神戸大	大市大	一橋大
硬式野球	大市大	神戸大	一橋大
サイクリング	神戸大	大市大	一橋大
卓球	神戸大	大市大	一橋大
ソフトテニス	神戸大	一橋大	大市大
空手道	大市大	一橋大	神戸大
バレーボール	神戸大	大市大	一橋大
柔道	神戸大	一橋大	大市大
剣道	一橋大	神戸大	大市大
洋弓	神戸大	大市大	一橋大
バドミントン	一橋大	神戸大	大市大
ゴルフ	大市大	一橋大	神戸大
総合	神戸大	大市大	一橋大

神戸大、大市大、一橋大の三つの旧制商科大学のつ

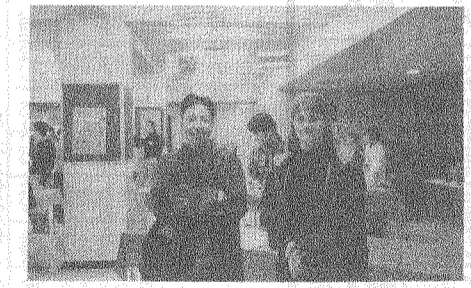
ながりで毎年行われている総合定期戦「第36回三大学

神戸大は十八種目で優勝し、他を寄せつけない圧倒的な強さをみせた。

なお、結果は次のとおり。全二十七種目のうち、神

私の料理は世界一!

留学生お国自慢料理交流会



十一月二十日、第九回留学生お国自慢料理交流会が神戸大六甲台食堂で行われ、約百五十人がそれぞれの国の料理で国際交流を深めた。

パパロバというケーキを作ったオーストラリア出身のエマ・オコンナさんは「楽しかったです。作ったパパロバもうまくいきました。」と終始笑顔だった。

パパロバというケーキを作ったオコンナさん(右)

伏流水

震災から二年。▼今回下宿の跡地を取材して感じたのは、大半の人が当時の様子を克明に今も覚えていることだ。あまりの鮮烈さに、言葉にならず涙を流す人もいた。▼「あの震災を忘れないでいよう」と叫ぶ人は多いが、そう思うこと自体無意識のうちに記憶が抜けていってしまったらどうではないか。意識的に思うことで自己満足しているようにさえ見える。実際に被災体験をした人は、「忘れない」といったことを考えるまでもなくくらくらに脳裏に焼き付いている。むしろ「忘れさせてほしい」という人もいた。▼神戸大の中で亡き友を直接知る者はこの春で四年生だけになる。「忘れない」はおろか「知らない」人が大半になるのだ。実際に体験していない神戸大生は一月十七日をどう捉えていくのだろうか。

講師募集!!

子供達の「やる気」を一緒に応援して頂ける方を求めています。

個別指導(対象:中高校生)
教科: 数学、英語、理科
学部・院生不問

リベラルスクール
phone: 0798-26-5390
藤田 (pm6~10)
西宮市寿町 5-16 カミヤビル 1F
(阪急夙川より徒歩2分)

神戸大学ニュースネット NEWS NET K.C.Press 神戸女学院大学

©関学新月通信

©神戸大学ニュースネット委員会

©神戸女学院大学通信社

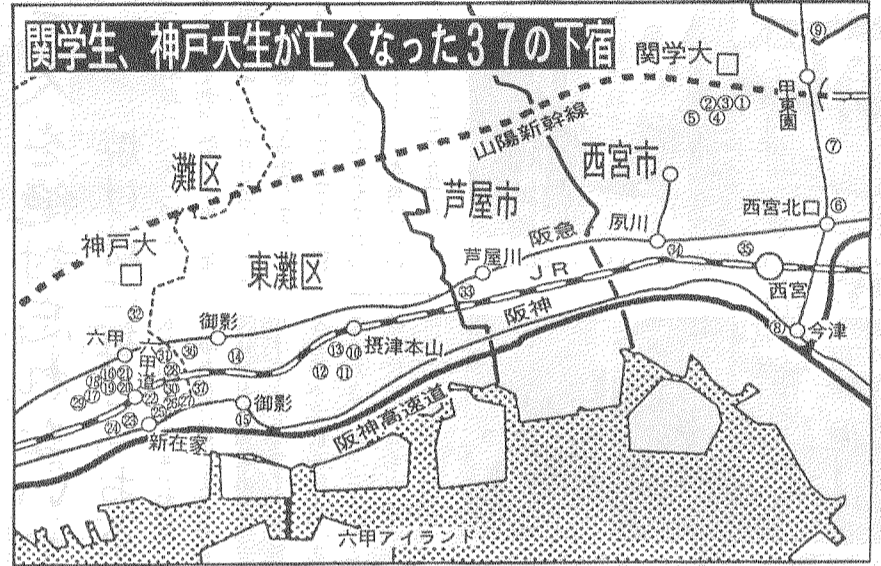
3 大学
共同編集

震災から2年 下宿街は今……

学生が亡くなった下宿の現状

被災下宿(亡くなった学生数)	場所	現状・大家さんのコメント
関西学院大		
1. 奥田荘(2人)	西宮市上が原四番町	土砂置き場。
2. 若葉荘(4人)	西宮市上が原五番町	駐車場。
3. 赤穂荘(1人)	西宮市上が原五番町	大家の住宅に。
4. 奥井荘(2人)	西宮市上が原七番町	更地。
5. 市ヶ谷荘(1人)	西宮市上が原九番町	二階建てアパートが建設中。
6. 清和荘(1人)	西宮市高木西町11-13	大家の住宅に。
7. 門前文化(1人)	西宮市門前町10-12	駐車場に。
8. いこい荘(1人)	西宮市津門川町11-11	マンション建設中。
9. 甲山荘(1人)	宝塚市仁川北2丁目12-9	鉄筋3階建てマンション。
自宅	神戸市東灘区岡本	
神戸大		
10. イーストハイム(1人)	神戸市東灘区本山中町4-9-17	ワンルームマンション建設中。
11. 吉田荘(1人)	神戸市東灘区本山南町7-5-17	96年1月ごろから駐車場に。
12. 玉谷荘(1人)	神戸市東灘区甲南町4-1-12	更地。今月家族向けマンション着工
13. 浜田文化(1人)	神戸市東灘区田中町4-4-22	大家の住宅に。
14. 郡家マンション(2人)	神戸市東灘区御影町郡家字大蔵2-7	更地。建て替えの工事標識が。
15. サニーハイム(1人)	神戸市東灘区住吉南町5-8-24	96年秋にワンルームマンションに。
16. 吉岡文化(1人)	神戸市東灘区神前町1-1-25	工事中。
17. 安田文化住宅(1人)	神戸市東灘区将軍通1-3	更地。枯れ草が目立つ。
18. 川原アパート(1人)	神戸市東灘区篠原南町1-6-12	従業員用アパートに建て替え。
19. 安田文化(1人)	神戸市東灘区六甲町5-7-18	更地。市に土地売却。区画整理待つ。
20. 西尾荘(3人)	神戸市東灘区六甲町2-4-5	更地。一部は市の仮設アパートに。
21. 杉本文化(1人)	神戸市東灘区六甲町2-6-19	駐車場に。
22. 岩田文化(4人)	神戸市東灘区備後町2-3	更地。建て替え「決心できない」
23. ニュー六甲ピラ(3人)	神戸市東灘区琵琶町3-7-6	駐車場に。
24. 清重文化住宅(1人)	神戸市東灘区下河原通1-3-12	駐車場に。
25. 盛華園アパート(1人)	神戸市東灘区友田町1-1-10	1Rマンション。今月入居始まる。
26. 村上文化住宅(1人)	神戸市東灘区友田町4-1-19	建設会社駐車場に。
27. 岩木文化(1人)	神戸市東灘区記田町5-5-4	駐車場に。「当分のままに」
28. 立花荘(1人)	神戸市東灘区高徳町1-4-8	仮設店舗。「建て替え予定ない」
29. 東神荘(1人)	神戸市東灘区神ノ木通3-4-22	更地。
30. 斉木荘(1人)	神戸市東灘区徳井町4-3-7	マンションに。
31. 浜吉文化(2人)	神戸市東灘区中郷町3-1-22~24	二棟とも更地。
32. 大日荘(1人)	神戸市東灘区桜ヶ丘6-10	更地。
33. 石本文化(1人)	芦屋市三条南町3-7	更地。
34. マンションN(1人)	西宮市安井町5-20	更地。
35. 増田荘(1人)	西宮市中殿町6-30	更地。
36. 下宿	神戸市東灘区西平野字平野8井上方	駐車場に。
37. 下宿	神戸市東灘区御影石町4-19-12上原方	更地。建て替え「まだ考えてない」
自宅	神戸市東灘区郡家大蔵16	建て替え中。
自宅近くの路上	芦屋市前田町内で被災	

*一九九六年十二月下旬から九七年一月上旬に調査。関学新月トリビュン、神戸大ニュースネット調べ。



四割が更地のまま 被災下宿 進まぬ復興

あのいまわしい大震災は、大学の下宿街をも直撃した。文部省の調べでは、大学生で亡くなったのは百十一人。神戸大が三十九人で最も多く、次いで甲南大の十六人、関学の十五人と続く。

特に、西宮市の関学周辺、神戸市灘区の六甲周辺、東灘区の本山周辺の木造文化住宅に被害が集中した。駆けつけたゼミやサークルの仲間、近隣の市民、肉親が救出にあたった。梁の直撃を受け、あるいは炎に包まれ、変わり果てた友の姿に私達は言葉を失った。あれから二年。下宿街の復興は進まない。関学、神戸大の学生が亡くなった三十七の下宿のうち、更地のままが十四か所(約四割)。

大学構内はほぼもとの姿に

阪神大震災では、関西の多くの大学が建物に被害を受けた。神戸大、甲南大、関学では、建物の倒壊などのひどい被害はなかったが、壁にクラックが入ったり、屋外階段が歪んだりした。二年がたった現在では工事は終わっているが、震災の教訓を忘れることなく、危機管理に向けて取り組んでいきたいとしている。

被害の大きかった神戸女院では、以前として復旧工事が続く。全部屋個室の新学生寮は今年の春、完成する。また倒壊した施設の設備を集め、さらに新しい機能を盛りこんだ、ダッドレー記念館は五月下旬に完成予定。単なる復興に終わらず、新しい神戸女院が誕生する。



木造2階建ての吉田荘では、全壊後すぐに更地になった

吉田荘

沈一春さん(法・当時四年)は東灘区本山南町の吉田荘で被災した。跡地に昨年の二月頃にできた駐車場を見ても地震があったことを全く感じさせなかった。吉田荘の向かいの工場の豊田優さん(40)は「全壊を乗り越えてこっぴどく話した」と生々しさを語った。



森さんは、1階西の部屋で梁に直撃されて亡くなった

イーストハイム

森さん(法・当時四年)が被災した、東灘区本山の中野イーストハイムは全壊跡地には新たにマンションが建設中だ。斜め向かいで、夫の譲さん(当時77)を亡くした川上博子さん(71・無職)は、「周辺には比較的古い建物が多く、被害が大きかった」と話す。

震災から二年。神戸、西宮の学生下宿街は、まだ更地が目立つ。この下宿跡は、復興、そして震災の記憶の風化……そのクロスポイントなのではないか。

神戸大、関学在学中に震災で亡くなった学生の下宿跡三十七か所をペンとカメラが訪ねた。(この特集は関西学生報道連盟の加盟9紙が協力して編集しました。)



3人が焼死した西尾荘あとには、焼け焦げたブロックのそばに毎日花と水が供えられる

西尾荘

中村公治さん(菅・当時三年)と鈴木伸弘さん(工・同三年)、坂本龍一さん(同)の三人が焼死した灘区六甲町の西尾荘跡は更地。一部は仮設アパートに。隣りの数田洋子さん(64・無職)は、毎日お茶とお花を敷地隅に供える。「三人ともまだ意識があったんです



神戸大生が四人圧死した岩田文化あとは更地のまま。大家さんは「アパートを建てる決心がまだつかない」という

更地に枯れ草、駐車場。駐車場。

岩田文化

灘区備後町の岩田文化は、JR六甲道の南側の激震地で、被害は大きかった。磯部純子さん(教育・当時四年)、梶達雄さん(理・当時二年)、齋藤原孝さん(理・当時三年)、細井里美さん(農・当時二年)の四人が被災。齋藤原孝さんは陸上部の副主将。細井さんは茶華道部、ユースサイクリング部に所属していた。木造二階建てで十五軒あったが、四人とも一階に住んでいたため、地震で二階が一階を押し潰し、圧死した。齋藤原孝さんの父・謙三さんによると、着のみぎのまま現場に駆けつけたとき、

大目荘

灘区桜ヶ丘の大目荘では、被災した。当時の状況を大谷さん(63歳・桜ヶ丘自治会長)は「五、六人の神戸大生が救助に来ていたのを覚えています。篠塚さんの友達も来て助けてくれた時はすでに亡くなっていました」と話す。現在、大目荘があった場所は更地となっており、大目如来だけが残っている。

井上純一方

今英人さん(自然科学研究家博士前期課程・当時一年)が被災した東灘区西平野の井上純一方(62歳)の家の一部は、現在駐車場となっている。

清重文化

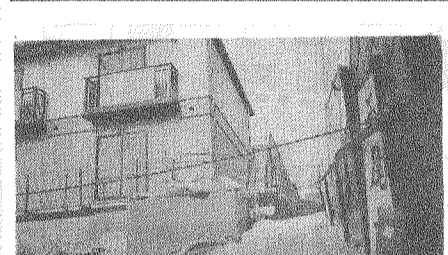
灘区下河原通の清重文化では長尾信二さん(工・当時二年)が被災した。二十五年以上あった清重文化は、駐車場に変わっていた

浜田文化

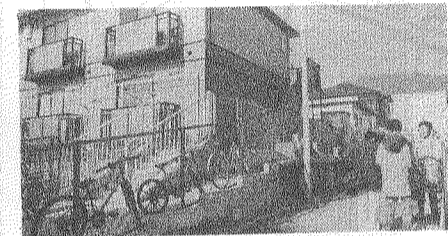
工藤純さん(法・当時院一年)の被災した東灘区田中町の浜田文化の跡地には、全壊したアパートを管理していた濱田増蔵さん(87・無職)の住宅が建っている。

杉本文化

灘区六甲町の杉本文化では競基弘さん(自然科学研究家博士前期課程・当時一年)が被災した。跡地は駐車場となりそれ以来は慰霊に来る人は少なくなった。



「西尾荘」の看板だけが残されていた(95年撮影)



西尾荘南棟あとは更地だが、北棟あとには神戸市の仮設アパートが95年暮れに建った

「三人を絶対忘れないで 焼け跡に毎日「お茶」

よ。下半身が瓦礫に埋まっていたんです。助けに来た学生らも「ノコギリとこやー」って言いながら走りまわっていました。でも三十分程すると火がどんどんまわってきて……」「本当にいい人達で、ここに立つだけで涙が出てきます。朝晩、私が飲む前に熱いお茶をあげて「今日は寒いね」とか話かけているんですよ。皆さんも時々名前を呼んであげてくださいね。三人のこと絶対に忘れたらだめよ。まだここにいますから……」

玉谷荘

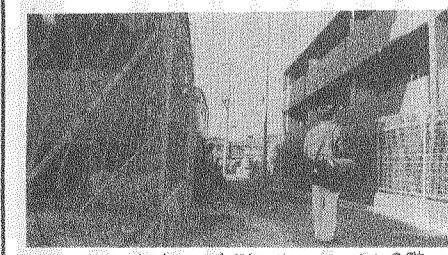
東灘区甲南町の玉谷荘では神徳史朗さん(工・当時三年)が被災した。玉谷荘のあとは現在、更地である。更地の南隣りに住む山内潤三さん(72・当時武庫川女子大学文学部教授)は「学生達に教えながら救助活動をしました。一日半ほどかかって八人助けたんですが、

更地にもようやく マンション建設

二人は亡くなりました。近所の方も逃げました。誰もいない中で学生が本当によくやってくれました。神徳さんの友達もやって来ていて救助に当たっていたんですが、神徳さんは玉谷荘では一番最後に救助されたかと思えます。出されたときにはすでに亡くなっていました。」と当時の状況を話す。その更地にも一



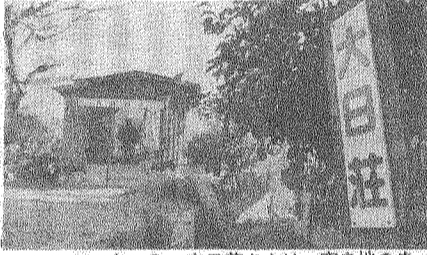
玉谷荘付近は、死者が非常に多くてた地域だった



左の銭湯の煙突が、右側のサニーハイム2階に倒れて来たという

サニーハイム

高橋幹弥さんが住んでいたのは、東灘区住吉南町の一軒家。現在は九十六年秋にできたばかりの、名前も変わったマンションが建っている。「マンション自体は大丈夫だったんです」と、近所に住む山田茂さんは当時を振り返る。「ただ隣の銭湯の高さ二十メートルほどもある煙突が、二階の高橋君の家に倒れてしまっ。運が悪いというにはあまりにもひどいことだ。二階親も悔やみ切れないようでした。煙突の処理は難しく、何カ月も残ったままです」。



ほころの向こうの大目荘あとは、空き地のまま。右側の路地は、かつてのバイク置き場



木造2階建てのアパートが建っていた



25年以上あった清重文化は、駐車場に変わっていた



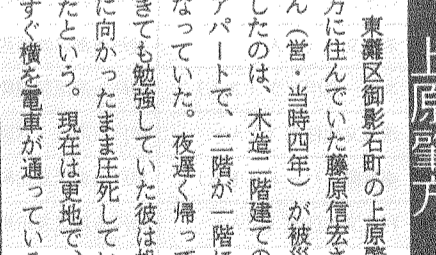
浜田文化のアパートでは、会社員と工藤さんの2人が亡くなった



杉本文化で亡くなったのは、競さんだけだった



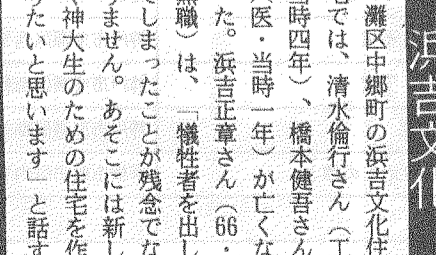
藤原さんは、3日目にがれきの下から出された



東灘区御影石町の上原肇方に住んでいた藤原信宏さん(菅・当時四年)が被災したのは、木造二階建てのアパートで、二階が一階になつてた。夜遅く帰ってきたも勉強していた彼は机に向かっていたまま圧死していったという。現在は更地で、すぐ横を電車が通っている。



ここには鉄筋の住宅が建築される



灘区中郷町の浜吉文化住宅では、清水倫行さん(工・当時四年)、橋本健吾さん(医・当時一年)が亡くなった。浜吉正章さん(66・無職)は、「犠牲者を出してしまつたことが残念でなりません。あそこには新しく神戸大のための住宅を作りたいと思います」と話す。

特集

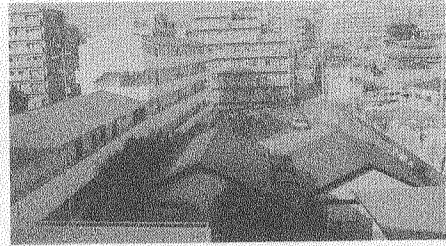
被災下宿を訪ねて…

神戸市灘、東灘地区

復興、風化、慰霊……

それぞれの想い交錯する跡地

郡家マンション



郡家マンションは最も古い棟だけが地震で倒壊した

立花荘

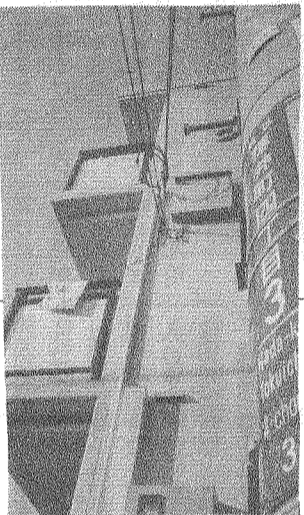
灘区高徳町の立花荘では稲井健太郎さん（法・当時四年）が被災した。家主の立花正二さん（68）は二階がドーンと前へつんのめってきて、後ろからもかぶつてきて。当日死にはしたんでしょな、僕がわかつたのは明るる日の夕方ですわ」と話す。立花荘の場所には酒屋が移り、空いた所はバラックの小屋が一つある他は更地になっている。

齊木荘

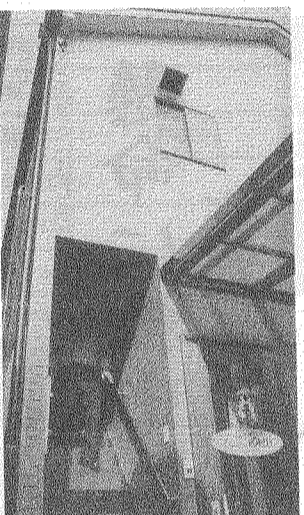
灘区徳井町の母志斌さん（自然科学研究科博士前期課程）が被災した。木造二階建てで完全倒壊、道もふさがるといった状態だった。当時は独身男性が多かった。うめき声かして近くの人が救助に向かったという。現在はフローラル六甲というマンションが建っている。

川原アパート

榎富浩二さん（自然科学研究科博士前期課程・当時一年）が被災した灘区篠原南町の川原アパートは木造二階建てで北側半分が崩壊。南隣に住んでいた栄根はま

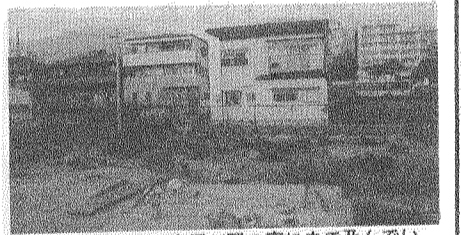


齊木荘あとには、3階建の新しいマンションが建っていた



川原アパートは、家族向けのアパートになっていた

吉岡文化



当時は倒壊した家屋が隣の家にまで及んでいたという

東神荘



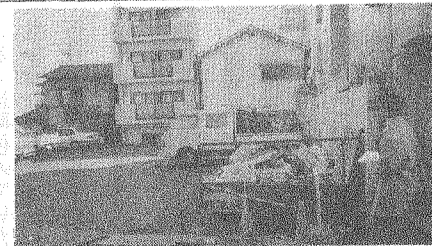
隣に住む大倉さんによると、遺族の方が何度か見えたという

安田文化



地震発生から2年目の1月15日、建て替わった盛華園の入居が始まった

村上文化



4棟あった村上文化あとは、駐車場になっていた

盛華園

灘区友田町の盛華園アパートでは高見秀樹さん（法・当時三年）が被災した。家主の光国さんの家の前には震災前はアパートの辺りにあったお蔵さんが置いてある。跡地には同じ名で新しく四階建てのマンションが建っている。一月十五日から本格的に入居が始まる。

「忘れない。だからここに来る」

小さな「慰霊碑」に父の手紙

ニュー六甲ピラ

灘区舞鶴町のニュー六甲ピラで被災しなくなったのは101号室の上野志乃さん（発達・当時二年）と上野さんのアパートにレポーター作成のために泊まりに来ていた川村陽子さん（同）、そして106号室の呉益さん（管・当時二年）の三人。

九十六年五月から駐車場となったが、その傍らには木でできたほころのような小さな記念碑がある。建てたのは、志乃さんの父、上野政志さん。三人の名札と、花と、訪れる度に書いた志乃さん宛の手紙が置かれる。「暑い夏がやってきたねえ。志乃達はどこで何をして

いるのだろうか知りたい。95年7月24日 政志」「……更地に夏草。無念の思いはつきない。今どうしている？返事が欲しい。95年8月25日 父」「六甲道駅も周囲の様子も、忘れたかのような日常があり、ますます孤立感が深まります。3人で何を話し合っているのでしょうか。紅葉の秋。赤

「……絶対忘れることはない。だからここに来る。過去に固執するのではなく、……過去を忘れるものは再び誤ちを繰り返す。……96年1月27日 父」「丁六甲道の向こうに沈む夕日が美しいよ。……日はドンドン過ぎていくのに心がそのまま置きざりになっていくのが淋しくもあるよ。どうしているね。3人いっしょかな。1996.2.10 父」



戸梶さんのために「お花でも植えようと思っ」と大家さん（中央奥）

灘区記田町の岩木文化住宅で戸梶道夫さん（管・当時二年）は被災した。管理人の岩木正雄さんの妻富美代さんの口からはしきりに「かわいそうやったね」の声。「戸梶さんは声もなく、てっきりいないと思ってたのに……」。跡地は当分は更地にしておくという。

岩木文化

後藤大輔さん（済・当時二年）が住んでいた灘区神前町の吉岡文化は木造二階建てで、地震で二階が一階になった。現在、その場所は工事中であった。

安田文化住宅ではもう一人、林宏典さん（済・当時二年）が柱の下敷きになり即死した。よく話をしていた下田孝利さん（53）は「最近泥棒がよく入ると言っていたので、玄関近くの柱の側で寝ていたようです。そのため柱の下敷きになったんですね」という。

灘区友田町の村上文化住宅で二宮健太郎さん（法・当時二年）は被災した。向かいに住んでいた中島澄子さんは「即死だったと思います。「助けて」の声もななくてね」と話す。三月にがれきが取り除かれ、野放図の状態だったが現在は駐車場となっている。

「もう下宿はやりません」 大家さん、つらい思い胸に

西宮・芦屋
宝塚地区

赤穂荘

関学生一人が亡くなった西宮市上が原五番町の赤穂荘は特に被害がひどかった所で、下宿街もかなりの被害が出た。現在は新しい建物が建っている。家主の妻Nさんは、当時を振り返る。「何より家族と学生さんが心配で聞いたら、みんな「大丈夫、大丈夫」って。Nさんはその後病院へ。肋骨五本が折れていた。自分の下宿の学生一人と夫、孫が亡くなったのを知ったのは家に帰ってからだった。「不思議と冷静に聞いていました。涙も出ない、放心

状態というんでしょうか。頭の中が正常じゃなかったんでしょねえ」。

「下宿をまたやる気にはなりません。また地震がないとは言えないし、学生さんが亡くなっているのだから始めたかもしれません」。Nさんはしばらく、震災のことを話すのもいやだったという。「地震には何年前かまでは気をつけていました。関学の理学部生のかたに十年ほど前『この辺りにきてもおかしくない』と言われて。地震に対して自分がいかに無知だったか、無防備だったか」と、Nさんは話の最後に軽く笑った。



15人の下宿生が生活し、2人の関学生が亡くなった西宮市上が原4番町の奥田荘の跡地。現在土砂置き場となった敷地の隅には、花束と線香、経文が供えられ、死者の冥福を祈る



震災の跡形は、不規則に並ぶ地面のブロックのみとなった赤穂荘あと

若葉荘



4人の学生が眠る若葉荘あとは、現在駐車場になり、跡形もない

奥田荘

西宮市上が原四番町の奥田荘は、現在土砂置き場になっている。亡くなったうちの一人、高木公志さんの

四人の学生が亡くなった西宮市上が原五番町の若葉荘は、現在駐車場になり跡形もない。木造二階建ての建物は、激しいゆれで一階がつぶれ、二階が一階になるという状態。当時の話を聞こうとしたが、家主の田中哲夫さんは「もう話尽くしたよ。悪いね。あまり思い出したくない」と震災の話に触れることを避けた。

懸命に救出、並ぶ遺体… 修羅場の跡に今も残る残骸

奥井荘

西宮市上が原七番町に奥井荘は十八人の学生が生活していた。みな被災者だったが、一刻も早く下敷きになった学生を助け出そうと近所の人々が集まった。八尋民子さんと宇野市枝さんもそうだった。「助けたいんですけど、何しろ要領がわからなくて」。ガラスの破片で足を切りながら、どうにか助け出した。「その



木造2階建てだった奥井荘も全て取り壊され、いまはがらんとした空き地に

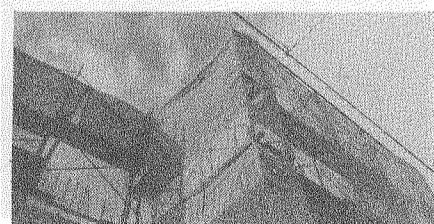
時はまだ息があったんです。でも顔色が変わって土色になってしまっていました。その学生の死が知らされたのは、翌日、一月十八日の午後のことだった。「遺体の受け取りにいったとき、何人も床にころがしてあって、本当にかわいそうでした」と近くの家主の田中富子さんは声をこぼす。遺体は両親の強い希望で、両親自らが引き取りにきた。二人の学生が亡くなり、一人は即死状態だった。



「住人はみんな仲がよかった」と大家さんが寂しげに語る清和荘も、現在は跡形もない



建物がつぶれて「2階が1階」になった。関学生のほか3人が犠牲になった



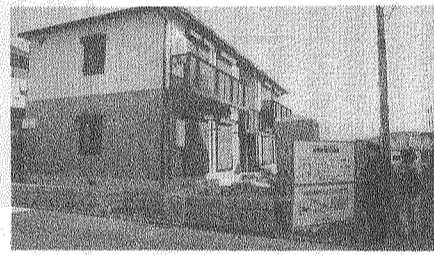
スナックやバブが軒を連ねる場所にあった木造のいこい荘では、松本さんほか3人が犠牲



甲山荘にあった阪神競馬場のすぐそばには古い木造住宅が密集し、多くが震災で倒壊した

市ヶ谷荘

西宮市上が原九番町の市ヶ谷荘では、関学生一人が亡くなった。「亡くなった関学生の方のバイクはあるけど、姿が見えないということ、ずっと探してました」と近くに住む渋谷さん



いまは新たにアパートが建設中だが、ここでも関学生が1人亡くなった。

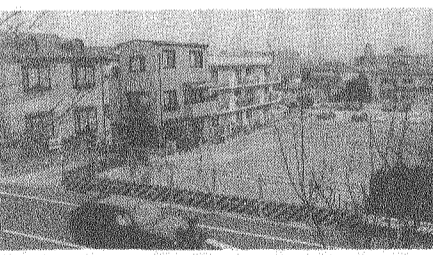
マンションN

西宮市安井町のマンションNでは加藤貴光さん(法・当時二年)が被災。鉄骨五階建ての三階までがべしやんこの状態で、二階の加藤



震災当日のマンションN (写真=共同通信、平成7年1月17日撮影)

さんは即死だったという。隣に住んでいた山上多津子さん(57)は「お父さんと一緒に住んでいて、その時は出張で一人やっていた聞いてます。あとで女の子が来て泣いてらしたわ。今も時々学生さんが来られるんやけど」と感慨深げ。現在は更地になっているが、フェンスには「マンションN」の看板がまだ残っている。新しくマンションが建つかどうかは未定という。



「マンションN」の看板を残したまま、現在は更地になっている

清和荘

西宮市高木西町にある木造二階建ての清和荘では、北側の一階がおしつぶされ、一階の一室で扇あきさん(文・当時19歳)が亡くなった。現在そこには大家さんの家が建っている。家の前のさら地の他に、当時の面影はない。

門前文化

西宮市門前町の門前文化では伊藤昌宏さん(文・当時二十一才)が犠牲に。建物はいずれも築二十年を越えていた。現在は土地を復興事業のためある企業に貸している。それも「今年いっぱい終わる」。その後はまたアパートが建つ予定。

いこい荘

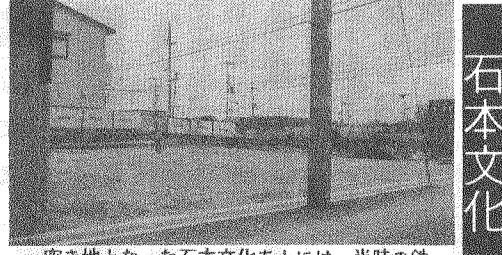
西宮市津門川町のいこい荘では松本美穂(法・当時二年)さんが亡くなった。近所の人はいこい荘は建物自体が西側に崩れた。二階が一階になってしまった」と当時を語る。現在は今年三月下旬に完成予定のマンションが建設中だ。

甲山荘

宝塚市仁川北にあった木造二階建ての甲山荘では、数内康行さん(法・当時四年)が亡くなった。現在は鉄筋三階建てマンションが建っている。ただ、石ころが散乱する舗装されていない道路だけがある意味で当時の面影を残している。

増田荘

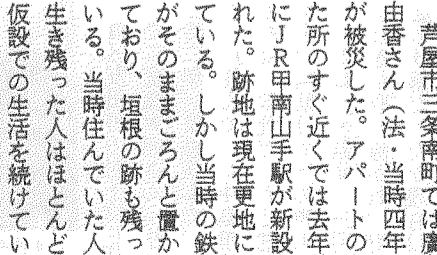
曹センさん(農学研究科)が被災した西宮市中殿町の増田荘は現在、更地で市が所有している。増田荘では、曹さんを含む二人が亡くなった。当時から増田荘の向かいに住む松本美穂さん(52)は「(曹さんは)その日の内に救助されました。でも、大家の増田さんも亡くなられてねえ。本当に辺りは悲惨な状況でした」と話す。



空き地となった石本文化あとには、当時の鉄柱や垣根の跡が残る

石本文化

若屋市三条南町では廣瀬由香さん(法・当時四年)が被災した。アパートのあった所のすぐ近くでは去年秋にJR甲南山手駅が新設された。跡地は現在更地になっている。しかし当時の鉄柱がそのままごろんと置かれており、垣根の跡も残っている。当時住んでいた人で生き残った人はほとんどが仮設での生活を続けている。



若屋市三条南町では廣瀬由香さん(法・当時四年)が被災した。アパートのあった所のすぐ近くでは去年秋にJR甲南山手駅が新設された。跡地は現在更地になっている。しかし当時の鉄柱がそのままごろんと置かれており、垣根の跡も残っている。当時住んでいた人で生き残った人はほとんどが仮設での生活を続けている。

96年神戸大学十大ニュース

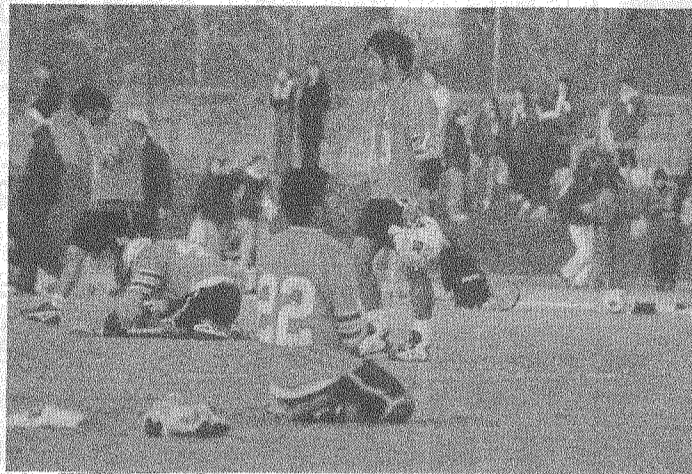
- 1位 アメフト部が、二年ぶりに1部に復帰。【十二月八日】
- 2位 O-157に生協、学祭実行委も対応に追われる。【七月~十一月】
- 3位 医学部生が覚醒剤所持で、文学部生が麻薬密売で逮捕された。【十月十七日、十一月十二日】
- 4位 学内に大学教育センター新講義棟等の新建築物が次々と登場。
- 5位 男子ラクロスの全日本連続出場記録が途絶える。【十一月二十四日】
- 6位 工学部で化学実験中に爆発事故が起こり、学生二人がケガ。【四月十六日】
- 7位 阪神大震災で亡くなった四十一人の慰霊碑が建立された。【三月十五日】
- 8位 OG(日本航空)が日本初の女性パイロットに。【三月二十五日】
- 9位 競技ダンス部が全日本で団体四位に入賞。【七月七日】
- 10位 カヌー一部が全日本学生選手権で五位入賞。【九月一日】

96年神戸大十大ニュース決まる

神戸大ニュースネット編集部が選ぶ、一九九六年十大ニュースが決まった。トップは、アメフト部の一部復帰。クラブハウスの完成もありアメフト部には大きな一年だった。二位は病原性大腸菌O-157騒ぎ。生協食堂でメニューの一部が食中毒になるなどの影響が出た。また七位には、阪神大震災で亡くなった学生、教職員の慰霊碑建立が入った。

男子ラクロス全日本行けず

関西学生リーグ最終戦、関学に惜敗



全日本出場がストップし呆然とする選手達(十一月二十四日・伊丹陸上競技場)

連続出場記録6でストップ

関西学生ラクロスリーグは二十四日、伊丹陸上競技場で男子最終戦が行われ、神戸大は関学に7-9で敗れた。神戸大は二敗で並んだ同大に直接対決で敗れていたためリーグ三位となり、全日本選手権の第一回からの連続出場はストップした。

同点で迎えた第4Q、神戸大はAT今のシュートで初めてリードを奪った。しかし「守りに入ってしまった」(西森主将)神戸大を関学が押し始め、二点を連取して逆転、終了間際の関学のAT千田のゴールで決着がついた。試合終了のホイッスルが鳴った瞬間、全日本出場権を失った神戸大の選手達はがっくり倒れ込みしばらく動かなかった。

西森大祐主将は「もともと関学とは差があったが、練習でそれを詰めることはできたと思う。今年は四年生が少なかったもので、二、三年生にはいい経験になった」と後輩に希望を託した。

会報紙に仮設住宅の特集

総合ボランティアセンター

震災をきっかけに設立された総合ボランティアセンターが今年の五月で二年目を迎える。

同センターは学生のニーズに合わせ様々なボランティア活動の場を紹介する機関。会報紙も発行しており震災二周年に向けて大和公園仮設住宅の特集を組む予定。「あと何年か後には神戸



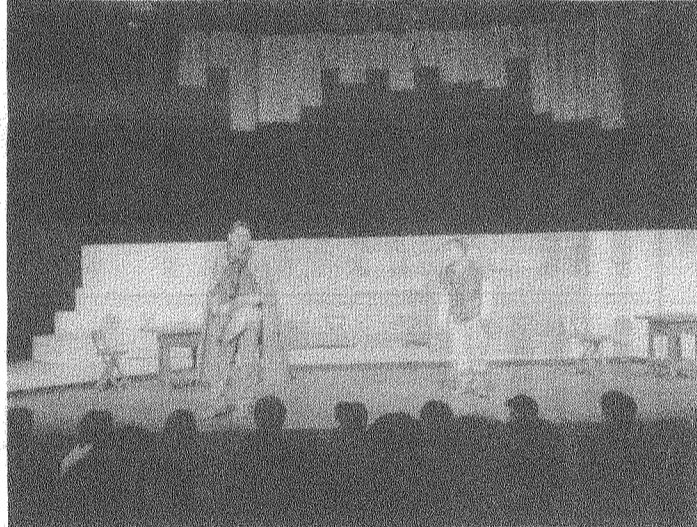
クラブハウス ついにお披露目

建設費はOBの寄付

国際文化学部グラウンドに建設中だった神戸大アメフトクラブハウスが去年五月の着工以来ようやく完成、十二月十一日に竣工式が行われた。総工費は一億五千万円。これは神戸大出身で千趣会の高井恒昌会長が、スポーツ発展のために寄付したもので、フットボール部専用のクラブハウスとしては国立大の中では京大について二番目となるが、関係者の話では、他団体の人達にも広く利用を認める方針でいる。鉄筋二階建ての建物の内部にはテニシングマシンルームやトレーニング室などがおかれる。また、ミーティング室にはビデオが完備されており、スポーツ関連の講習会も開かれる予定。今年は一階復旧のレイバンスだけに、このクラブハウスをフルに利用しての健闘が期待される年となる。

駆け込み演劇祭

神戸大自由劇場



満員の観客と一体になり演劇祭の初陣を飾った自由劇場(十一月二十三日・一心寺シアター)

関西の五大学が参加する第二回駆け込み演劇祭が十一月二十三日、一心寺シアターで神戸大自由劇場の「GOOD TOMORROW」を皮切りに始まった。初日は約百二十人の観客で、会場は満席状態だった。演出家の稲葉信悟さん(法・四)は「まっすぐさをストレートに出したい」という思いで作品を作った。学生の葛藤に重ねあわせて見てくれたらと思う」と語った。また出演者の堀井剛介さん(国・四)も「広い舞台で観客と一緒にやっているという気がした。」と、興奮気みの様子だった。

NEWS NET

!!!

部員募集。共同編集室(06)307-1315。

安心を守ります

ここにいますよ サンキン

サンキンは、みなさんの暮らしを支える商品の開発と、各種金属製品の販売を行っています。

サンキン株式会社